

## 編集後記

2017年は、小学校・中学校の次期学習指導要領が公示されるとともに、大学入試の在り方についても「高大接続改革」といわれるような様々な議論が進み、子どもの教育を取り巻く社会の変動をまさに感じる年となりました。知識や技能といった、覚える、身につけることが出来る力、容易に尺度を作り評価することができる力ではなく、容易に身につけることが出来ない、容易に尺度を作り評価することができない力を、育て、そして測る時代に突入しようとしているのかもしれませんが。こういった時代に大学はどのように立ち向かっていけばよいのか。これを考える視点として「資質・能力」というテーマを設定し、先生方から多くの論考をご寄稿いただきました。

歴史の中では、時の文部官僚澤柳政太郎が卒業試験を廃止した明治33年の「第3次小学校令」以後、「学習」という社会の圧力は揺れ続けてきたように感じられます。勉強させることが必要なのか、勉強以外の時間があることが大切なのか、個性を大切にすることが重要なのか、優れているとは何なのか。今日の「資質・能力」に関する議論を、学習という社会の圧力の中でどのように捉えたらよいのか、あらゆる文脈から議論することが必要なのかもしれませんが。

最後になりますが、まずは、ご寄稿頂いた先生方に感謝申し上げます。お忙しい中タイトなスケジュールで校正にご協力を頂き、ありがとうございました。また、本所報の発行に際し、様々な方からご支援・ご協力を頂きました。ご支援・ご協力頂いた全てのみなさまに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。(峯村)

平成29年度 教育研究所研究員

所長兼研究部門長	原 克彦	(社会学部メディア表現学科教授)
FD 部門長	鑑屋 一	(外国語学部中国語学科教授)
IR 部門長	沢崎達夫	(人間学部心理カウンセリング学科教授)
主任研究員	林美奈子	(看護学部看護学科教授)
研究員	今野裕之	(人間学部心理カウンセリング学科教授)
研究員	藤谷 哲	(人間学部児童教育学科准教授)
研究員	溝尻真也	(社会学部メディア表現学科専任講師)
研究員	前田ひとみ	(外国語学科英米語学科准教授)
研究員	矢野秀典	(保健医療学部理学療法学科教授)
研究員	奈良雅之	(保健医療学部理学療法学科教授)
研究員	毛束忠由	(保健医療学部作業療法学科教授)
研究員	立石雅子	(保健医療学部言語聴覚学科教授)
研究員	峯村恒平	(教育研究所助教)

(執筆者の所属は平成30年3月末現在のものです)

人教育

第12号 2018

平成30年3月31日 発行

発行人 所長 原 克彦

発行所 目白大学教育研究所

〒161-8539 東京都新宿区中落合4-31-1

電話 03(5996)3187(直通)

印刷所 株式会社 白峰社

〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-49-6

電話 03(3983)2312

イラスト いしばしひろやす